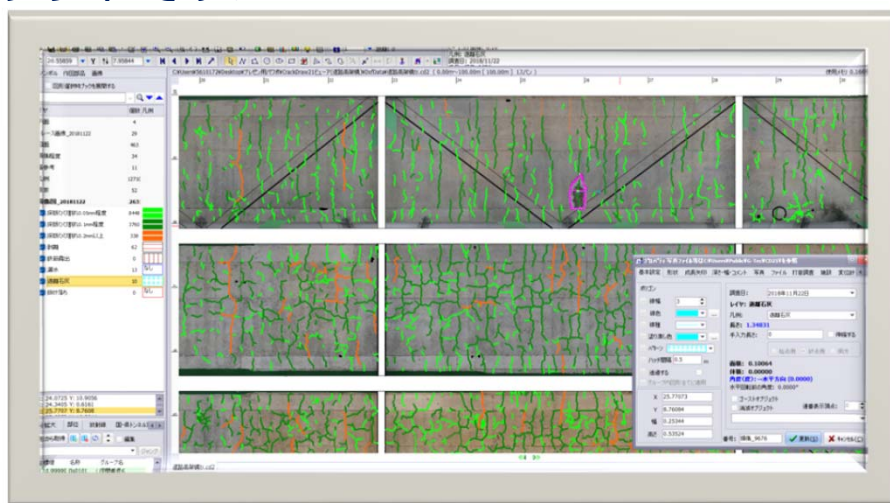


コンクリート構造物等の変状展開図作成、データベース化、管理支援が可能なソフトです。



変状のデータ化

点検日、変状種別、ひび割れ延長、ひび割れの方向、剥離や鉄筋露出の面積、規模（縦×横）などが**自動でデータベース化**

画像背景からスケッチすることで現地における変状スケッチや寸法確認が不要になります。



高度化

環境に応じた分析や可視化
劣化度や進展状況、水や陽当たりの関係性、ひび割れ密度や軸方向ひび割れの増加量の把握など

仮説の裏付けや新たな発見

大地震の影響区間・施工起因による変状区間の裏付け、特有の傾向のひび割れ発見などによる新たな仮説や知見の裏付け

新工法の客観的な効果確認

定期的な画像記録から、新材料や工法による効果を客観的に測定

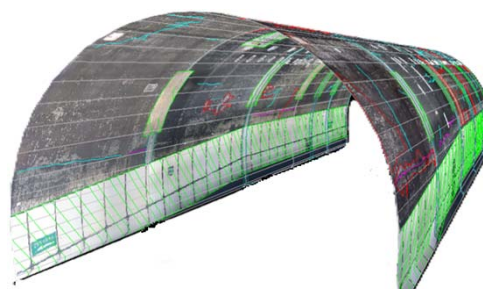


効率化 コストメリット

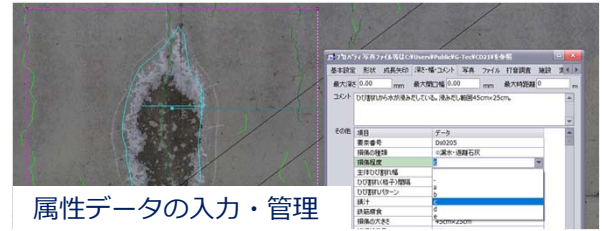
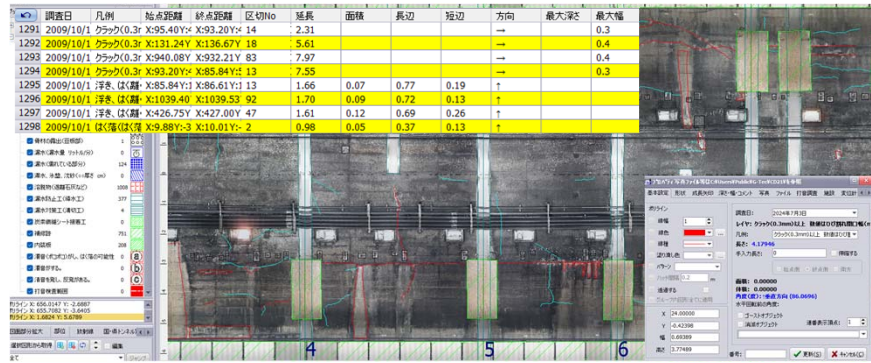
すべてデータ管理されているため、csvやExcelを活用することで、調書類の効率的な作成や**自動評価**の検討が可能になります。

高度化により、抜本的な対策が取りやすくなり、**中長期的視点のコストメリットを創出**します。

点検結果をデータベース化し、高度な分析を誰でも簡単に実現
正しい診断・抜本的な対策を行い、中長期的に持続性のある維持管理、コスト削減を目指す



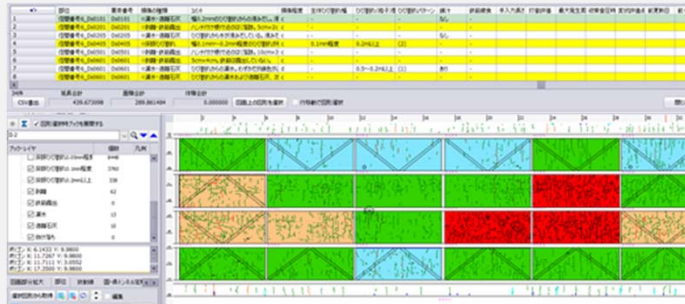
○図面のデータベース化



- ✓ 部位、要素番号、スパンなどの自動分類
- ✓ ひび割れ方向の自動分類

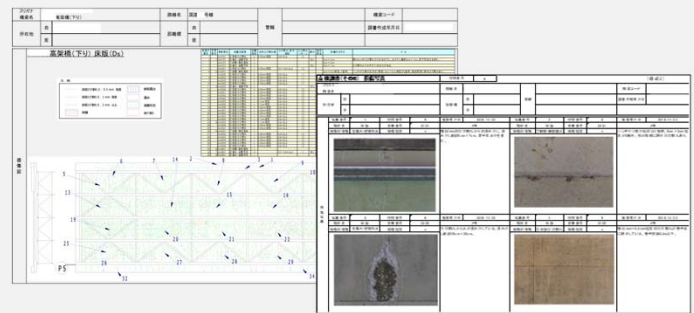
- ✓ 損傷の大きさ、ひび割れ長さなどを自動でデータ化
- ✓ 画像やデータを重ねて経年変化を客観的に把握、管理

○評価の支援



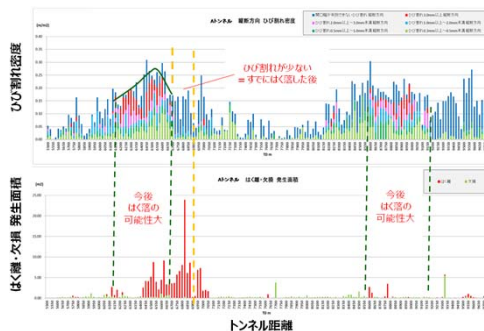
- ✓ 要素ごとのひび割れ密度、主体ひび割れ幅、ひび割れ方向の割合、その他損傷の集計を簡単に行うことができます。
- ✓ お客様の点検要領等に合わせた、判定の自動化の検討も可能です。

○調書作成の効率化



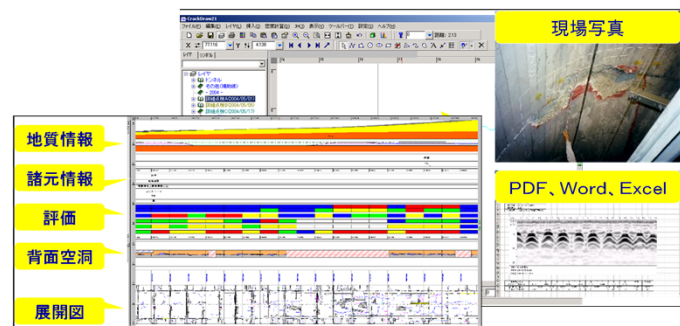
- ✓ 旗上げを簡易にし、詳細な情報を表形式にすることで、損傷図作成の効率化と高度化が可能になります。
- ✓ Excelなどを活用することで調書の半自動作成といった業務効率化につながります。

○データの有効活用



- ✓ 目視点検では気づかなかった症状をデータ化したことにより早期発見、予防保全につながった事例が多くあります。
- ✓ 構造物全体を画像化し、データを有効に活用することで、今まで気づかなかった共通点や特異点を発見しやすくなります。
- ✓ 変状原因の推定や今後の予測・監視・措置にも役立てることができ、アセットマネジメントの観点からも有効です。

○ファイルの一元管理



- ✓ 現地状況写真や関連調査結果などを損傷図にリンク、一元管理が可能です。
- ✓ お使いのWindows PCで閲覧可能なファイルは、すべてリンクできます。